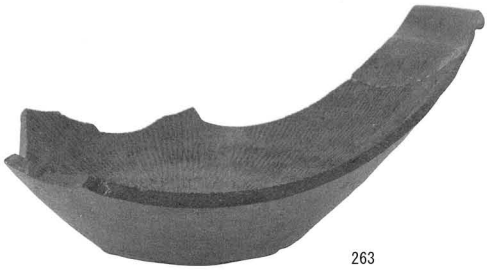
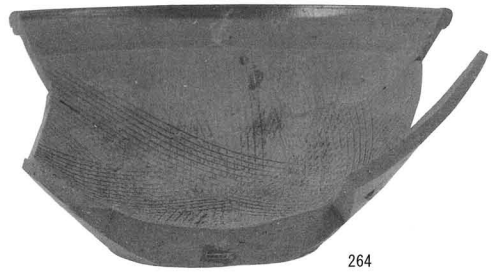
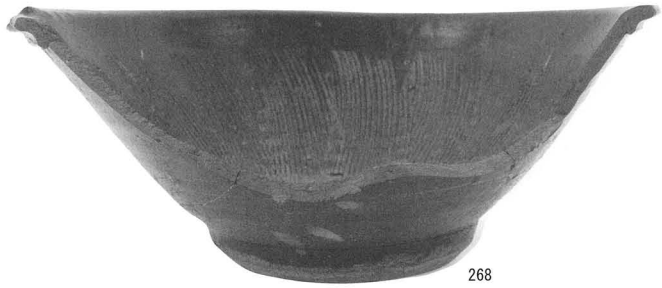

263

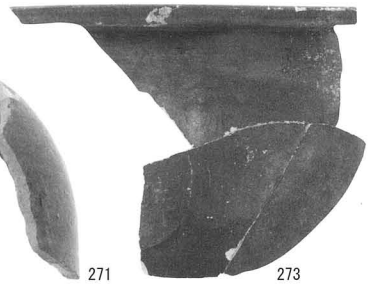

264

265


268

269

271


273

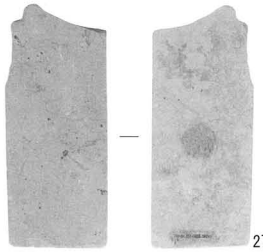
274

270

275

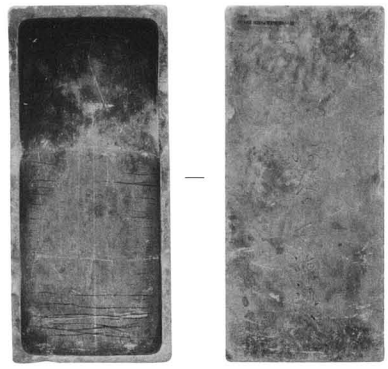
約1/4

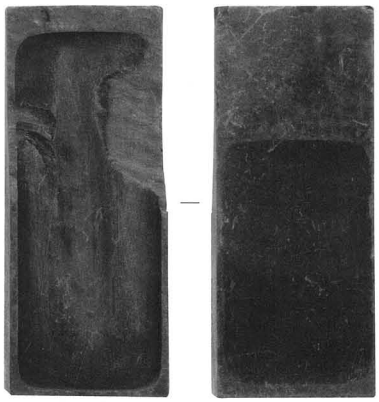
図版14 石製品


277

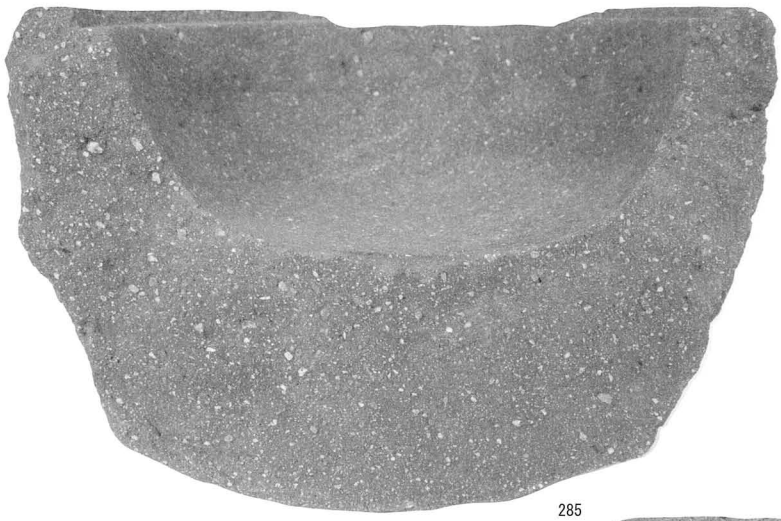
278

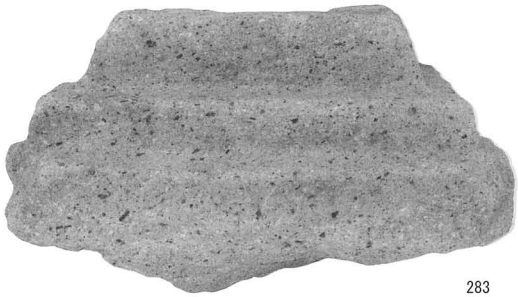
279

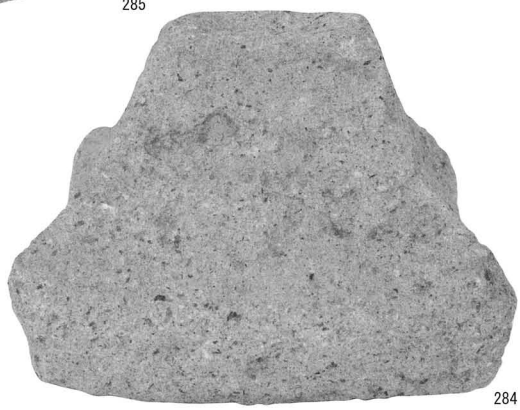

280


281

282

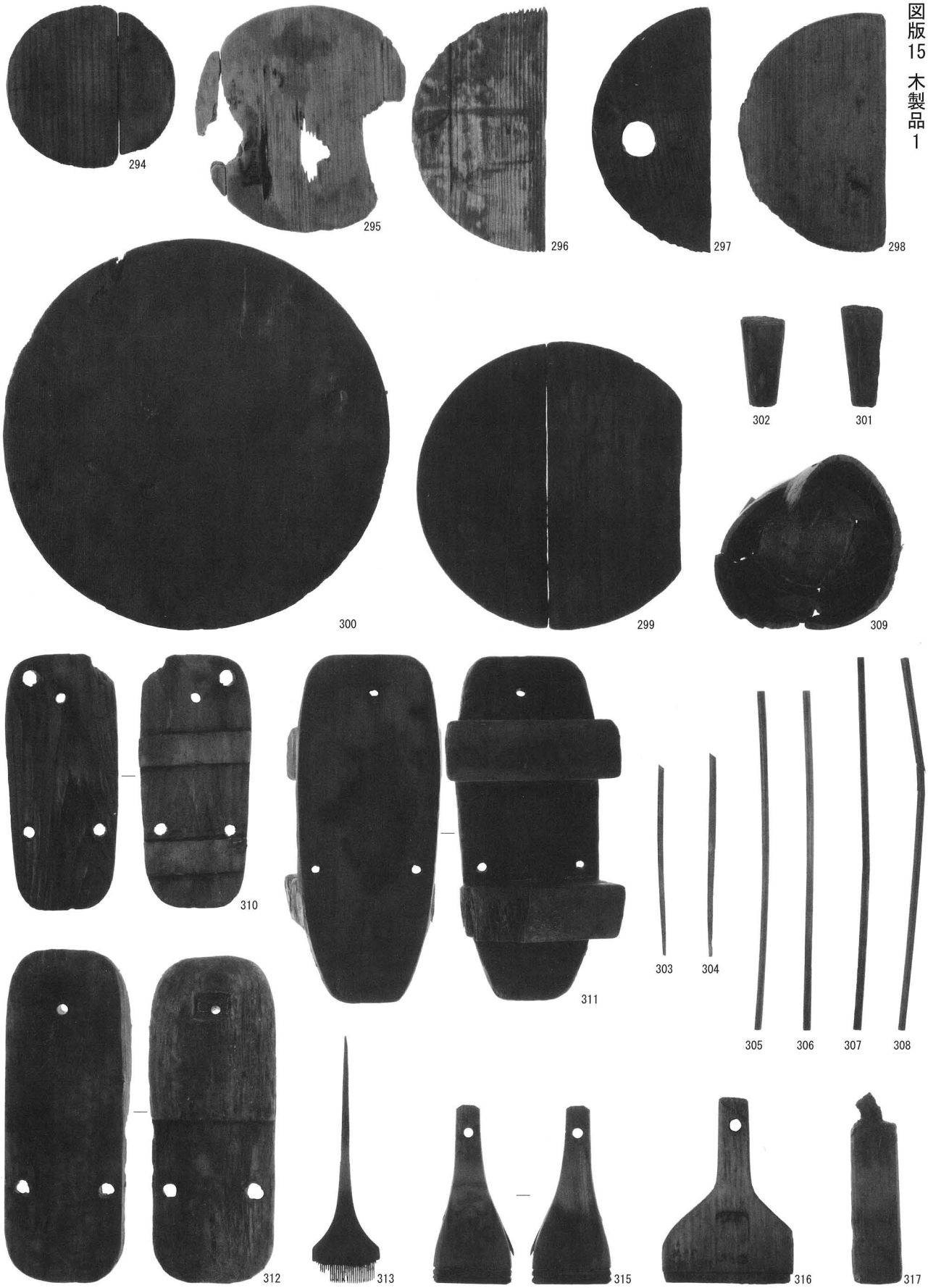

285


283


284

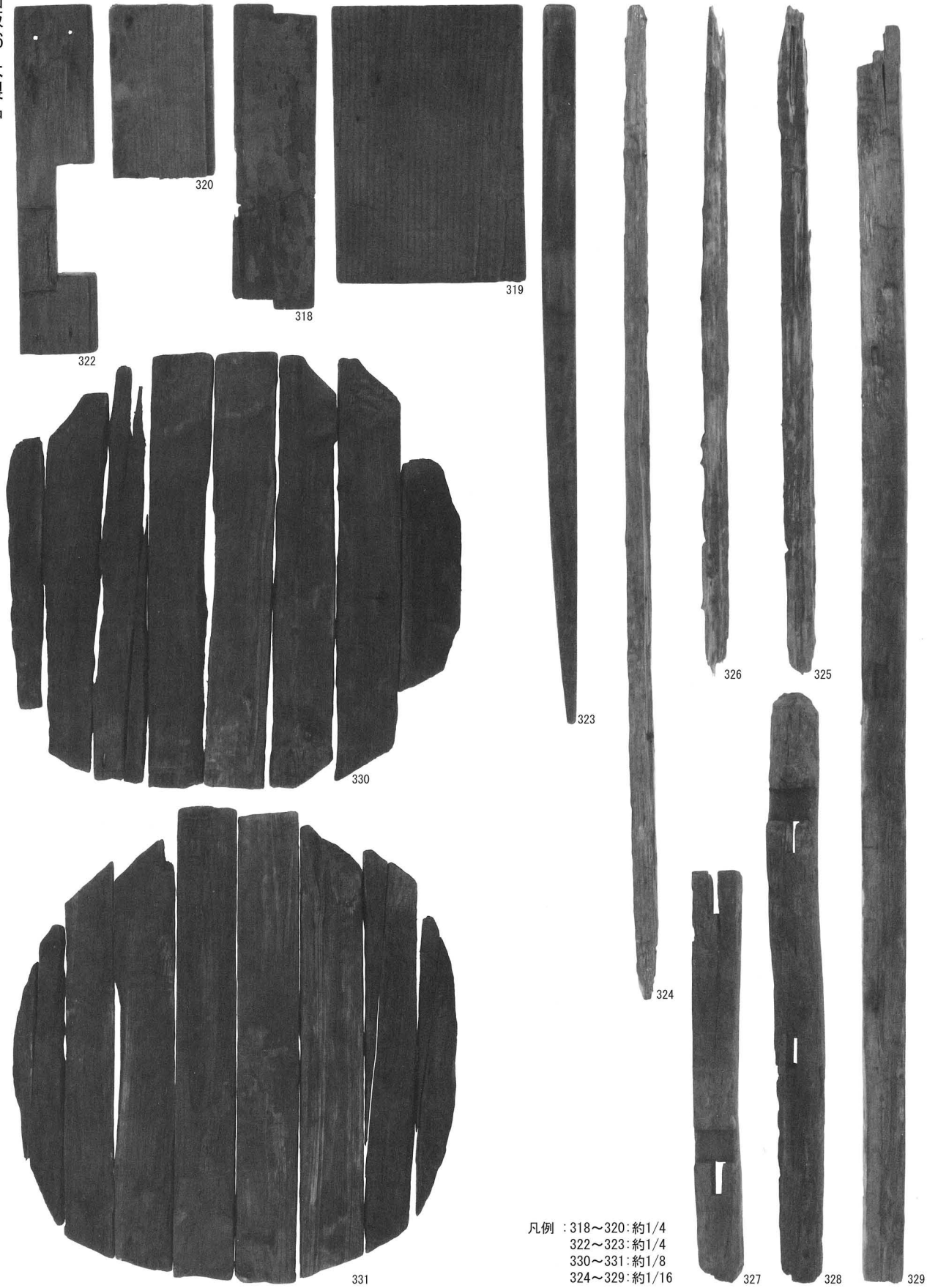
凡例 ：277～282：約1/4
283～285：約1/8

図版15 木製品1



約1/4

図版16 木製品2



凡例：318～320：約1/4
322～323：約1/4
330～331：約1/8
324～329：約1/16

報告書抄録

ふ り が な	とやまじょうあとはっくつちょうさほうこくしょ
書　　名	富山城跡発掘調査報告書
副　書　名	総曲輪四丁目・旅籠町地区優良建築物等整備事業に伴う富山城下町の発掘調査報告
シリーズ名	富山市埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	39
編 著 者 名	鹿島昌也・伊藤雅和・酢谷恭子
編 集 機 関	株式会社 アーキジオ
所　在　地	〒933-0824　富山県高岡市西藤平蔵 581　℡0766-63-8850
発 行 機 関	富山市教育委員会　埋蔵文化財センター
所　在　地	〒930-0091　富山県富山市愛宕町 1-2-24　℡076-442-4246
発 行 年 月 日	西暦 2010 年 1 月 31 日

ふりがな 所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
富山城跡（とやまじょうあと）	富山市総曲輪四丁目・旅籠町	16201	201397	36 度 41 分 22 秒	137 度 12 分 33 秒	20081117 ～ 20090116	1,300 ㎡	マンション建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
富山城跡（とやまじょうあと）	城下町	中世	溝、井戸、土坑、ピット	中世土師器、青磁、瀬戸美濃	中世富山城段階の区画溝を確認
		近世 近代	背割下水、溝、井戸、土坑、土台建物、ピット	磁器、かわらけ、越中瀬戸、瀬戸美濃、京・信楽、石製品（砥石・五輪塔・宝篋印塔、手水鉢）、木製品（蓋、下駄、漆器碗、建築部材）	背割下水によって隔てられた武家屋敷地と町屋敷地を確認。

要　約	調査地は武家屋敷地と町屋敷に相当し、両屋敷地を区画する石組みの背割下水を確認した。武家屋敷地は藩政期富山城下町における中級～上級家臣団の屋敷地に相当する。町屋敷地は旅籠町に相当する。町屋敷地の南側には北陸街道が東西に通り、調査地は通りからみて裏手に相当する。背割下水の周囲には、井戸や土坑などの遺構が密集し、特筆する遺構として、町屋敷地では土台建物の基礎部分を確認した。背割下水は少なくとも２時期の変遷が確認され、いずれも河原石を用いた石積みが構築されている。19 世紀代に両側面を乱雑に石を積み上げた古相の溝が構築され、19 世紀後葉～末に両側面を谷積（落積み）で底面は石敷きとしたものに作りかえられる。堆積物の分析より、背割下水は定常的に水が流れる環境ではなく、しばしば乾燥するような好気的環境にあったことが推定されている。

富山市埋蔵文化財調査報告 39

富山城跡発掘調査報告書

-総曲輪四丁目・旅籠町地区優良建築物等整備事業に伴う富山城下町の発掘調査報告-

発行日　2010（平成 22）1 月 31 日

編　集　株式会社アーキジオ

〒933-0824　富山県高岡市西藤平蔵 581

発　行　富山市教育委員会　埋蔵文化財センター

〒930-0091　富山県富山市愛宕町 1-2-24

Tel　076-442-4246

Fax　076-442-5810

E-mail　maizoubunka-01@city.toyama.lg.jp

印　刷　とうざわ印刷工芸株式会社